



乾式二重床

施工・取扱説明書

このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して
いただくために本書をよく読み、正しくお取り扱いください。

（製品に関するお問い合わせ・お客様相談窓口）

販売元：万協株式会社
TEL：03-5424-0707
製造元：泰成株式会社
TEL：0265-83-1138
商品仕様は予告なく変更することがあります。
取替えパーツ供給可能期間は生産中止から10年です。

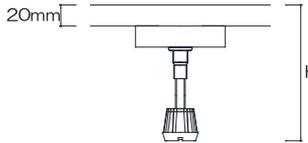


注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物質的損害の発生が想定される内容を示しています。

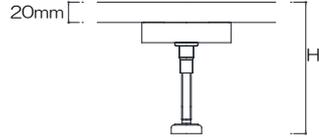
梱包内容の確認

■ 遮音用



YBL型支持脚

■ 補強用（間仕切下他）

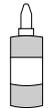


WBL型支持脚

品番	適応床高(H)mm	標準入数	品番	適応床高(H)mm	標準入数
YBL-60	54 - 66	100	WBL-50	43 - 50	100
YBL-70	62 - 76	100	WBL-55	45 - 60	100
YBL-80	71 - 102	100	WBL-70	55 - 86	100
YBL-90	81 - 117	100	WBL-80	65 - 101	100
YBL-125	102 - 144	80	WBL-105	86 - 128	80
YBL-145	111 - 174	80	WBL-125	95 - 158	80
YBL-175	141 - 204	80	WBL-155	125 - 188	80
YBL-205	171 - 234	80	WBL-185	155 - 218	80
YBL-235	201 - 264	50	WBL-215	185 - 248	50
YBL-250	207 - 292	50	WBL-230	191 - 276	50
YBL-310	267 - 352	50	WBL-290	251 - 336	50

※標準入数の半数未満は、接着剤別売となります。
※適応床高は床パネル厚さ20mmを示します。

- 施工・取扱説明書（本書） 1部
- 接着剤（BA-400又はBA-200）
冬季など低温度、乾燥時は硬化しにくい場合がありますが、
品質に問題は有りません



注意

接着剤のラベルに書かれている注意事項をよく読んでご使用ください。

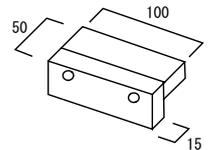
別途用意するもの

- 床パネル（万協指定パーティクルボード F☆☆☆☆）
床パネルは濡らさないで下さい。
- 捨張り合板（必要な場合のみ）
捨張りは厚さ12mm以上の合板を推奨します。
- 釘及びビス
 - 床パネル固定用 スクリューネイル・コーススレッド
半ねじフレキ付
 - 台座の厚さ20mmは38mmを、15mmは32mmを使用。
 - 捨張り固定の注意
 - 注1) 9mm未満の合板を使用する場合、釘・ビス等が合板を突抜け、合板の浮きが発生する恐れがありますので充分注意願います。
 - 注2) 合板留付けの釘・ビス等が床パネルを突抜けると配管を傷付ける恐れがありますので長さの選定には充分注意願います。
- ガムテープ
- 施工工具一式
 - 電動丸鋸
 - 釘打ち機（コンプレッサー）

- インパクトドライバー
- 水平器
- カッター
- ドライバー
- スケール
- 水糸
- 掃用具（ほうき、ちりとり）

⑥ 隙間ゲージ

厚さ15mmの合板又は木材で、
右記形状のものを4個以上の
ものを作ります。

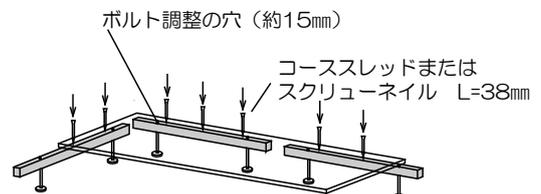


施工前に、床コンクリート面を清掃してから始めます。

施工

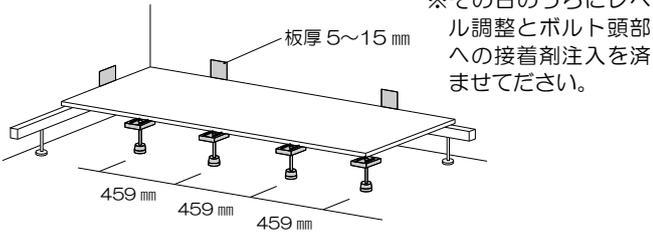
① 床パネルの敷き込み

- ア) 壁際は床パネルにシステムネダを取り付けます。
※壁際は、ネダを壁に先付する方法、支持脚受けもしくは在来根太でも施工出来ます。
- システムネダを壁に先付する場合の施工については、別途「システムネダ、防振システムネダ施工要領書」を参照下さい。
 - 細部納まりは、現場ごと異なります。現場でご確認下さい。



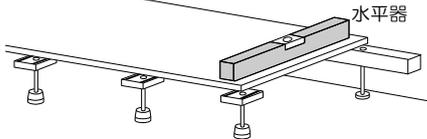
床パネルには高さ調整用の穴を空けます。

イ) 壁との間に約5~15mm隙間を設けます。
 支持脚のシールを剥がし、459ピッチ以内で床パネルの側面と台座テープが直交する向きで貼り付けます。台座よりボルトが出る場合、ゴム底面に接着剤を塗布します※。

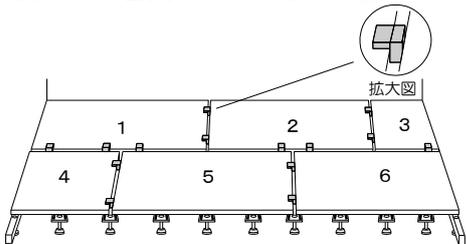


※その日のうちにレベル調整とボルト頭部への接着剤注入を済ませて下さい。

ウ) 床パネルに水平器を置き、ボルト部を廻して床パネルを水平に調整します。



エ) 2枚目以降の床パネルは15mmの隙間(目地)を開けて敷きこみます。この時、隙間ゲージを使用して下さい。床パネルは、短手方向に張っていきます。(下図の1~6の順番)張り仕舞い、床パネルの幅が200mm以下になる場合、前列の床パネル幅をカットし、200mm以上にして下さい。



②床パネル固定

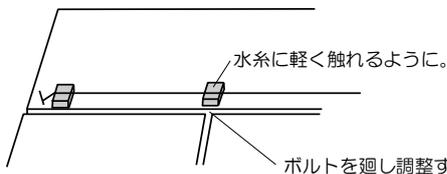
床パネル上からスクリーネイル又はコーススレッド(長さ38mm)を打ち固定します。下図の位置に打して下さい。



4ヶ所 4ヶ所 2ヶ所 3ヶ所
 スクリーネイルの場合 コーススレッドの場合

③レベル(床高)調整

- 壁際を基準として床パネルの目地に沿って水系を張り、両端にスペーサ(同じ厚みのもの)を挟み、もう一つスペーサを用意して、床パネルと水系の間にあてます。ボルトを廻してスペーサが水系に軽く触れる高さに調整します。床パネルの水平は出来る限り保して下さい。
- レーザーでレベル調整する場合は、かね尺等を使用し、レベルを確認しながら高さを調整して下さい。



注意 • 製造工程上、ボルト頭部の十字溝に一部変形がみられるものがありますが、不良品ではありません。
 • インパクトドライバーや電動工具等でレベル調整

を行うと、過度な負荷がかかり、ボルト頭部の十字溝及びねじ山が潰れる恐れがありますので、ご注意下さい。

④点検

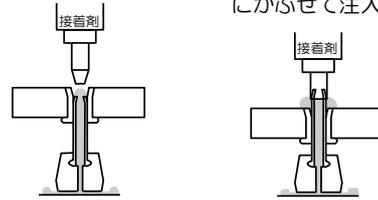
床全体を歩いて支持脚の「浮き」が無いか確認します。支持脚上を歩いて他よりも柔らかく感じたら浮いている可能性があります。
 浮いている箇所を発見したら、スラブ面に支持脚が接地するまでボルトを廻して下さい。



⑤接着剤注入

支持脚の上から接着剤を注入します。接着剤が固まるには1~2日かかります。

台座よりボルトが出る場合、接着剤ノズルの印部で切断し、ボルトにかぶせて注入して下さい。



接着剤を入れる目安 YBL-235、WBL-215 まで3ml
 YBL-310、WBL-290 まで5ml

注意 基本数量以下の支持脚には接着剤が入りません。



注意

床上に重量物を置かないで下さい。
 また、接着剤が硬化するまで人の歩行も避けて下さい。

⑥テープ貼り

床パネルの目地をふさぐように、養生テープを貼ります。但し、捨貼合板をする場合、必要ありません。

⑦BL マークの証紙貼り

床パネル1枚につき、BL マークの証紙1枚を床パネルの上面に貼り付けます。



⑧捨貼合板およびフローリング

床パネルと直交に貼って下さい。目地と、合板の継ぎ目が重ならないようにして下さい。

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証紙の貼付(または刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ (<http://www.cbl.or.jp>) をご覧ください。

以下の条件の範囲内でご使用下さい。

- 積載荷重 : 200kgf/m²
- 局部曲げ荷重 : 150kgf 以内の静荷重
- 衝撃 : 0.5m×30kgf 以内の非連続な衝撃力